

NTT ドコモが法人向けに販売を予定しているタブレットPCに ディスク暗号化ソフトウェア「SecureDoc」を採用

ディスク暗号化ソフトウェアの先進企業、WinMagic Inc.の日本法人であるウインマジック・ジャパンは、レノボ・ジャパン（以下、レノボ）が、本年6月に発表した法人向けのタブレットに、同社のディスク暗号化ソフトウェア「SecureDoc」が採用されたことを発表した。

レノボは、法人向けタブレット事業の強化策の一環として、本年6月18日にNTTドコモのLTE回線「Xi（クロッシィ）」に対応した、法人向けタブレット「ThinkPad Tablet 2 for DOCOMO Xi」を発表した。同製品はWindows 8を搭載しており、従来の軽量／薄型の「ThinkPad Tablet 2」で、NTTドコモのXi LTE高速通信が利用可能になったタブレットPCであり、法人向けタブレット市場で急速にニーズが高まっている高速通信に対応している。

「ThinkPad Tablet 2」は、ThinkPadの代名詞でもある「堅牢性」を実現しながらも、薄さは約9.8mm、ペン搭載モデルでも重さは約590gと、32%の薄型化、23%の軽量化を実現している。また画面サイズも10.1インチと大きく、液晶には上下左右どの方角から見ても画面が見やすいIPS液晶パネル（1366x768）を採用している。また「ThinkPad Tablet 2」には、専用のペンが搭載できる。ペンはオプションで選択可能で、グローブなど装着し、指でのタッチ操作が難しいシーンでの利用はもちろんのこと、「ThinkPad Tablet 2用ペン」は、1024段階の筆圧感知に対応しているので、ボールペンを使うような感覚で、電子書類へのデジタル・サイン入力や手書き入力などが可能だ。

ウインマジックは、従来型のPCにおいて、国内を含め世界的に豊富な導入実績を持つディスク暗号化ソフトウェア「SecureDoc」に対して、「ThinkPad Tablet 2」

向けに新たに独自開発を施し、これまで困難とされていたタブレットPCの完全暗号化とPCのプリブート（起動前）認証を実現した。オペレーティングシステムが起動する前にユーザー認証を要求するディスク暗号技術には、タブレットPCのように物理的なキーボードがないPCでは認証が行えず、PCが起動できないという重大な欠点があった。今回、ウインマジックはWindowsが起動する前の状態で独自のスクリーンキーボードを使えるようにし、キーボードを接続しなくても、完全に暗号化されたタブレットPCが利用できるようになった。このウインマジックの新しい技術により、タブレットPC上の全てのデータの暗号化、タブレットPCの起動制御、ロック、遠隔からのデータ消去、および管理をすることが可能になり、紛失や盗難にあったタブレットPCからのデータ漏洩を防止することができるようになった。

「ThinkPad Tablet 2」に対応する「SecureDoc」の新しいバージョンは、NTTドコモ法人営業部門等より販売予定の「ThinkPad Tablet 2 for DOCOMO Xi」のオプションとして8月から販売が開始される予定だ。

ウインマジック・ジャパン 代表取締役の石山勉氏は「レノボ様にはこれまで、ThinkPadの暗号化ソフトとしてSecureDocを長年ご販売いただいております。更に今回タブレットPCの暗号化ソフトとしても追加採用いただきましたことは、その実績を高く評価していただいたものと確信しております。ウインマジックではタブレットのビジネスシーンでの普及を予見越して、タブレットに特化した開発を進めてまいりましたが、時宜を得たタイミングで販売を開始していただき大変光栄です」と語っている。

ウインマジック・ジャパン

URL : <http://www.winmagic.com/jp>